

地域資源を活用し地域を支える肉用牛経営

(岡山県：有限会社 哲多和牛牧場)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
○			○		女性活躍

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：岡山県新見市
- ・代表者：代表取締役社長 谷田 宏
- ・飼養頭数：1,500頭
- ・出荷頭数：約450頭/年（千屋牛生産の約60%）
- ・雇用者数：26名（R4.2時点）（パート含む）
- ・HP等：（会社HP）<http://tettawagyu.jp/>
（Facebook）<https://www.facebook.com/tettawagyu>



親子放牧の様子

<取組について>

- 概要
 - ・和牛（ブランド牛「千屋牛」）の繁殖肥育一貫農場。
 - ・林地や草地を最大限活用した親子での周年放牧により、省力化とコスト低減を図るなど、経営体質の強化に努めている。
 - ・岡山県産の稲WCS、稲わら、飼料用米サイレージなど、地元産飼料を積極的に利用しており、自給飼料の県内広域流通にいち早く取り組んでいる。またエコフィードの利用にも取り組み、おから・酒粕・米ぬか・きのご廃培地等を自社で混合し給与。
 - ・農場の職員は、ほぼ新見市内在住で、地域の雇用に貢献。また、県内の学生（公益財団法人中国四国酪農大学、岡山県農林水産総合センター農業大学校）や、一般の研修生を受け入れるなど、将来の担い手の確保・育成に積極的である。さらに女性職員の増加にともない、更衣室やトイレの整備等労働環境に配慮した働きやすい職場づくりを目指している。
- 成果
 - ・肥育牛の給与飼料を見直し、飼料費低減だけでなく牛の健康・産肉性や増体が改善。
 - ・体力ある牛づくりを目指し、雪中でも昼夜通して親子放牧することにより、健康な子牛づくりと繁殖牛の長命連産を実現し、さらに生産コストも削減。
 - ・県内産稲WCS・飼料用米利用とともに、堆肥を耕種農家に供給することで資源循環型農業を実現。

